

# 長中魂



平成30年1月9日(火)

第31号

伊豆の国市立長岡中学校だより  
文責 守野 和弘

## 3学期・第5ステージ「感謝」がスタートしました。

1月5日(金)より51日間の3学期がスタートしました。1月は行く、2月は逃げる、3月は去るといわれるように、あっという間に時が過ぎていきます。その中で、次の学年、ステップに向けてどう取り組んでいくのか、代表生徒が語りました。

### 3年1組 平山 文子さん

いよいよ3学期となりました。今学期、私たちが待ち受けているのは高校入試です。これは自分の将来の夢に近づくための第一歩であり、自分の力だけで乗り越える初めての試練でもあります。その不安から、「この書き方で本当に大丈夫だろうか」「この勉強法でいいのだろうか」と私は少し疑心暗鬼になります。

2学期にはかつらぎ祭があり、練習、練習、練習と忙しくも楽しく過ごし、不安を感じる暇もありませんでした。かつらぎ祭が終わっても、生徒総会や進路室づくりがあり、机の配置はどうしよう、掲示物はどんなデザインがいいだろうと考えていると、気分が切り替わり、切れかけていた集中力が戻ってくるように感じました。しかし、家で一人問題と格闘するというまさに孤独との闘いで、この冬休みの私の不安は大きくなり、何度も勉強を投げ出したりしました。そんなとき、私を支えてくれるものが二つあります。友人と第一志望の高校です。勉強が楽しくて遊びたくなくなっても時計を見てあの子もまだ頑張っているだろうと思うと、自然と気が引き締まります。志望校に入学した自分を想像すると前向きな気持ちでもうひと頑張りできます。そして今、入試はすぐそこです。不安はさらに大きくなるでしょう。しかし私たちには友人、家族、先生方がいます。入試は自分の力での勝負ですが、それは孤独ということではないと思います。私はそれを忘れず入試当日まで精一杯努力し続けます。



この3ヶ月は今までで一番速く過ぎ去るでしょう。入試後には3送会や卒業式もあります。すべてを最高の形にし、一つの悔いも残さないように、私は全力で駆け抜けたと思います。そして胸を張って卒業の日を迎えたいと思います。

### 2年1組 大下 稜貴さん

3学期を迎えるにあたって、自分が目標としてあげることが3つあります。1つ目は、学年委員としてクラスを一つにまとめることです。2学期には、体育の部や文化の部があり、クラス全体が成長できたと思います。しかし、まだ本当に一つになれたとはいえないと思います。それは、学校を長く休んでいる子がいるからです。三田先生は、ある日、「みんなが学校に来やすい雰囲気を作ってあげよう」と言いました。僕は「なるほど」と思いました。自分たちが学校に来て安心して過ごすことができている。そして、学校が楽しいと思えば、学校に来やすくなると思います。僕は、全員が学校が楽しいと思える、そんなクラスにしていきたいです。

2つ目は、野球で勝つことです。僕たち野球部は、人数が少ない中、日々練習を頑張っています。顧問の先生が代わり、チームの雰囲気や練習内容が大きく変わります。



した。僕たちチームの課題は守備です。野球は、守備ができなければアウトが取れません。だから、いくら打っても負けてしまいます。平日も土日も清水先生のノックやマシンを使って守備力の強化に励んでいます。自分も仲間も4月に比べて成長しているのを実感しています。最初は勝てなかった練習試合も勝てるようになりました。しかし、公式戦では1回も勝ったことがないので、2月の公式戦では必ず勝ちたいです。僕たちの野球部の目標は、中体連で優勝し、県のベスト8に入ることです。簡単なことではないので、毎回の練習を大切に、よい結果を残したいです。

3つ目は、3送会の成功です。3学期は感謝のステージであり、3送会や卒業式といった大切な行事があります。僕たちは、3年生にこれまでたくさんお世話になりました。その感謝の気持ちを3年生に伝えたいと思います。練習では、2年生として1年生を引っ張り、見本となるように頑張ります。そして、3年生が僕たち2年生に長岡中を安心して任せられるような姿を見せたいです。

この3つを目標に3学期は頑張り、周りの人から任せられるような人になりたいです。

# 感謝



## 1年4組 庄司 悠真さん

冬休みも終わり、今日から3学期が始まります。あと3ヶ月で僕は2年生になり、新入生も入ってきます。僕は新入生の手本として「長中魂」を背中で語れるような2年生になりたいと思っています。



僕が3学期に一番頑張りたいことは部活動です。新チームになり、夏の厳しい練習を乗り越えてここまでやってきましたが、気がつけば2年生と一緒にプレーできるのもあと半年余りです。僕たちバスケットボール部は2年生が少ないので、積極的に2年生のプレーから学び、1年生がチームの中心となって盛り上げられるようにしたいと思います。

部活動だけでなく、2年生になると勉強もいちだんと難しくなります。残された3ヶ月間、2年生になるための準備期間として、勉強にも力を入れなければなりません。今はまだどんな職業に就

くか決めていませんが、進路学習を通して働くことの意義を学び、夢に近づけるよう努力していきたいと思っています。

また、僕たち1年4組もあと3ヶ月で解散してしまいます。担任の土屋先生は、入学式の日「このメンバーが1年4組として集まることは『奇跡』です」という話をしてくださいました。だから、僕はこのメンバーで過ごす最後の3ヶ月は、クラスが解散した後も「1年4組で良かった」と思えるような充実した生活を送りたいと思っています。

1年4組は、「自己判断」という学級目標を決めるときやかつらぎ祭体育の部の大縄跳び、クラスの問題点など、何度も話し合いを重ね、結束を強めてきました。その結果、文化の部では金賞をとることができました。しかし、一方で提出物が出せなかったり、すぐに騒がしくなったりするなど、まだまだ課題も多くあります。目の前の小さなことから改善していき、最高のクラスだと全員が胸を張って進級できるようにしたいと思います。

第5ステージのテーマは「感謝」です。今、長岡中学校で落ち着いた生活ができているのも、代々先輩方が築いてくれた伝統があるからです。何でも「当たり前」と思っていると、「ありがとう」という言葉は出てきません。このクラスの仲間や1年部の先生方、先輩、家族、地域の方々、僕を取り巻くすべてのものに感謝の気持ちを忘れず、これからの日々を過ごしていきたいと思っています。

